

自らマシユの身代わりになり、
猿長者達から感謝ポイントを
集める藤丸立香。

猿長者

「なかなか良い無様な恰好だね」

立香

「これで…マシユに
手を出さないでくれる……？」
♥」

「もちろん……♥
くだ子ちゃん
恥辱で震えつちやつてて
かわいいね……♥」



「ほらもつと気合入れて
舐めないでポイント
溜まらないぞ……!」

「はあ……れるっ♡ちゆる♡
臭い……♡
千ンポ臭が鼻に来る……♡♡♡」

「おっ♡ザーメン
上ってきたぞっ!
ザーメン射精
顔まんこで受け止めるっ!!!」





どびゅっ♡びゅくっ♡
どびゅるるるるっ♡♡

どびゅっ♡

どびゅっ♡

どびゅっ♡

どびゅっ♡

どびゅっ♡

どびゅっ♡

どびゅっ♡

「がっ……♡がはっ……♡
何これ……♡気持ち悪い……♡♡♡」

「初めてにしてはなかなかの
便女っぷりだったよ立香ちゃん
お口に入った精子は全部飲み込むんだよ」

「この働きぶりなら
早く感謝ポイント返せそうだね
これから毎日可愛がって
あげるね……♡」



一週間後

「ふうっ♡ちゆるっ♡
うぐうう♡♡まん♡キツい♡
イツ…イキそう…♡♡♡」

「電動バイブ弱で
感じすぎでしょ(笑)」

「オラツ！雑魚まんこ顔
晒してないでさっさと
俺たちのチンポを奉仕しろっ!!!」



「んおっ♡まんざらいいぐ
イグううっ♡♡♡」

「いい声で鳴きますねこの女
ちよつとうるさいけど(笑)」
ブタ

おんおん♡♡♡

おんおん♡♡♡

「やべっ♡♡♡まんざら
キマるっ♡♡♡
イグイグイグッ♡♡♡」

「そろそろ
ザーメン恵んでやるからなっ!
オラ射精すぞっ!!」





どぴゅっ♡びゅく
びゅくびゅくんっ♡♡♡

びゅく

びゅく

びゅく

びゅく

びゅく

びゅく

びゅく

びゅく

「すごくいい便器だったよ
立香ちゃん♥
今感謝度すごく上がってるよ」

「カツ……カハ……♥
今日もザーメン便女として
使っていただけ
ありがとうございました♥」

「そろそろマンネリ化してきたし
そろそろマッシュちゃんを混ぜて
3Pするか……」

















